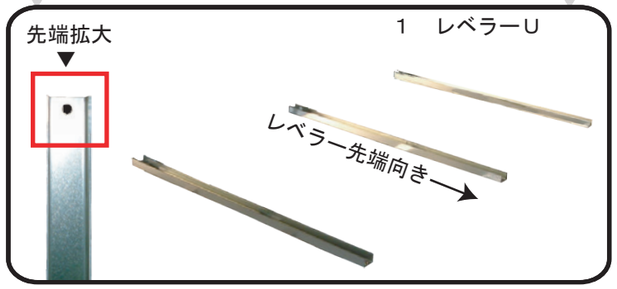
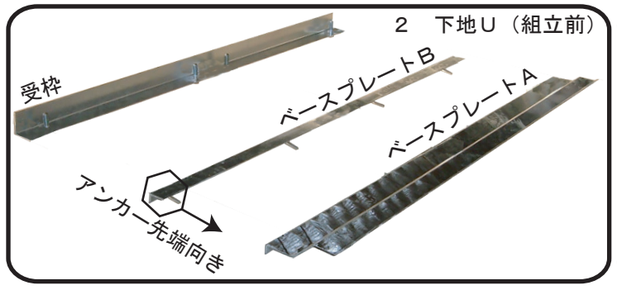
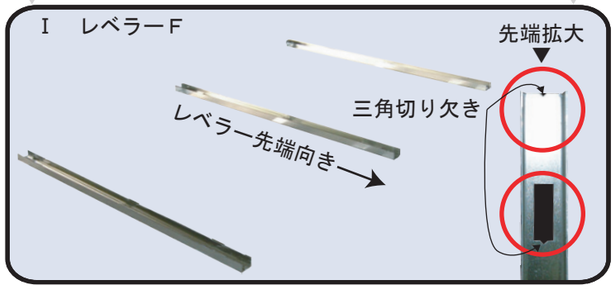
施工時にはレベラーを使用して組み立てます。レベラーは１物件につき最大で下地の定尺２セット分付属します。
下地数量がそれより多い場合は下地を溶接固定施工後、取り外して複数回ご使用ください。
下地の定尺はＭＸ７７Ｄが１８００mmで、他の製品は２０００㎜です。レベラーは３本で１セットです。

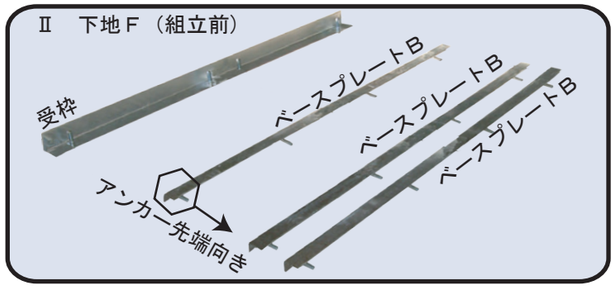
Ｕタイプ（跳ね上げタイプ）※１→２→３



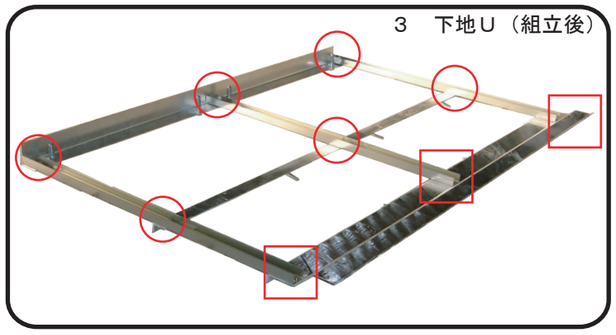


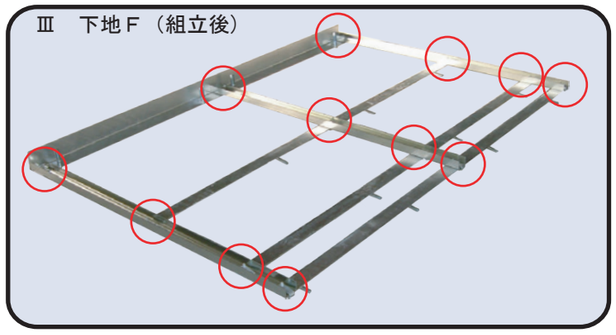
Ｆタイプ（平行変位タイプ）※Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ



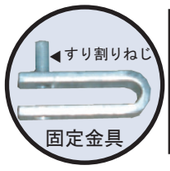


手順①
下地Ｕ／Ｆの上面にレベラーＵ／Ｆをセットします。
・受枠側と逆方向にレベラーＵ／Ｆの先端が向くようにします。ベースプレートＢのアンカー先端の向きも同様です。
・両端部のレベラーＵ／Ｆに受枠・ベースプレートの両端部を合わせ、全てそろえて組み立ててください。

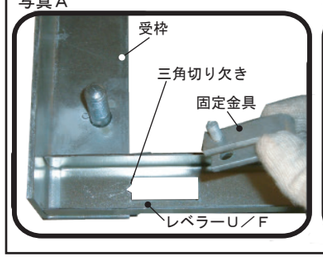




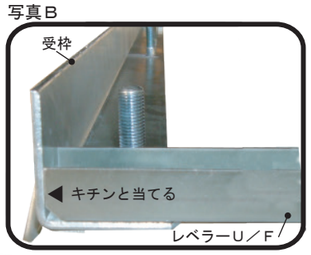
手順②
〇部を固定金具、□部を固定ビスで固定します。
・〇部の固定金具はレベラーＵ／Ｆの上側から固定金具を差込み、下地とレベラーを挟み込んだ状態で、すり割りねじをマイナスドライバーで締め付けてください。受枠・ベースプレートＢはレベラーＵ／Ｆの固定金具取付部の三角の切り欠きのある側に固定してください（写真Ａ・Ｃ）。
・固定前に受枠の立面部にレベラーＵ／Ｆがキチンと当たっているか（写真Ｂ）アンカーの先端が受枠側と逆方向になっているか確認してください（写真Ｃ）。
・□部にレベラーＵの上側から固定ビスをマイナスドライバーで締め付けてください（写真Ｄ）。
・下地寸法、形状、配置が図面寸法に合っているか確認してください。



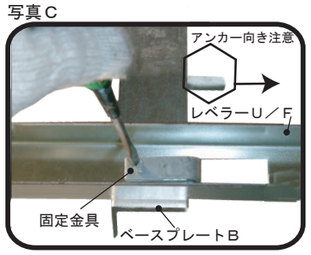
写真Ａ



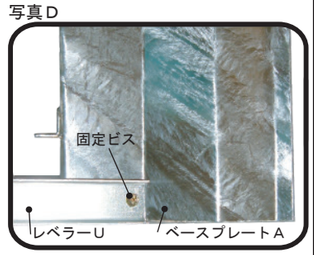
写真Ｂ



写真Ｃ



写真Ｄ



※この内容は平成２５年２月現在のものです。外観・仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。

免震構造建築用 EXジョイント MX

施工・取扱説明書

施工およびご使用される前に必ず最後までお読みください。

この度は、弊社免震ＥＸジョイントをご使用いただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に必ずこの「施工・取扱説明書」をご一読いただきますようお願いいたします。
間違った施工・取扱を行いますと商品のガタツキや損傷、事故につながる可能性がありますのでご注意ください。なお、施工終了後は本書をご使用される方へ、必ずお渡しいただくようお願いいたします。本書は、いつでも見られる場所に必ず保管していただくようお願いいたします。

⚠ 充填タイプＭＸ７７ＳＴ、ＶＴＥ、ＶＴＨは充填部を仕上げて施工完了となります。設定した荷重強度を出すため、カバー充填部には18（呼び強度）-18（スランプ）-10（骨材の最大寸法）Ｎ（セメントの種類）以上の強度の生コンクリートを補強材レベル+5㎜以上充填してご使用ください。骨材は必ず20㎜以下のものをご使用ください。

⚠ 製品の取扱上の注意について

・設計条件を超える荷重がかかる場所では使用しないでください。
　本製品には設計荷重があります。設計条件を超える荷重がかかると、破損や変形を招き、事故を引き起こす恐れがあります。
・取付・取外しは専門業者に依頼してください。
　清掃や交換などのメンテナンスが必要な場合は、専門業者に依頼してください。取付方法を誤ると、破損や変形、ガタツキを招き、事故を引き起こす恐れがあります。取付・清掃・交換・点検などの際は必ず作業用手袋を着用してください。
・加工をしないでください。
　切断、穴あけ、切削、変形、塗装などの加工を施さないでください。製品の強度の低下や、錆の発生の原因となり、事故を引き起こす恐れがあります。
・破損、変形した製品は使用しないでください。
　何らかの原因で、破損や変形した製品は、強度が著しく低下しており、事故を引き起こす恐れがあります。適正な製品に交換してください。
・油などが付着した場合、すみやかに取り除いてください。
　油などの滑りやすいものが製品の表面に付着すると、車両のスリップや歩行者の転倒などの事故を引き起こす恐れがあります。すみやかに清掃を行い、油などを取り除いてください。
・すき間に指を入れないでください。
　カバーとカバーのすき間や、カバーと受枠のすき間などに指を入れると、指詰めなどの怪我をする恐れがあります。すき間に指を入れないでください。
・持ち運び及び輸送には、充分ご注意ください。
　重量の重い部材がございます。腰などを痛めたり、足の上に落とすとケガの恐れがあります。
・取扱いには軍手や革手袋をご使用してください。
　指のケガ及び骨折等の恐れがあります。取扱いの際は軍手や革手袋を必ずご使用してください。
・外部からの強い衝撃を与えないでください。
　搬入時など本製品に衝撃や荷重をかけないでください。破損や変形する恐れがあります。

⚠ 鋳鉄製品の維持管理上の注意について

・カバーが破損したり紛失した場合は、速やかに取替えまたは補充をしてください。転倒事故などによりケガ及び骨折のおそれがあります。特に地震など大きな変位があった後は、製品の破損状況やカバーなどが所定の位置に戻っているか確認し、安全な状況を確認してから通行してください。
・カバーを操作及び確認する場合は、周囲の安全確認を行ってください。
・カバーの表面がすり減った場合は、速やかに取替えてください。滑ってケガをするおそれがあります。
・鋳鉄製品の塗装は一次防錆塗装です。塗装面にキズがついたり、常に湿潤な状態では錆が発生し易くなりますので取扱いには、ご注意ください。錆が発生した場合は、清掃のうえ再塗装をしてください。
・枠に砂及び小石等が入るとガタツキやふたの飛び出しの原因となります。定期的に清掃してください。
・カバーの開閉時に手足をはさまれないようにご注意ください。

㈱カネソウ株式会社　　２４０－３Ｋ

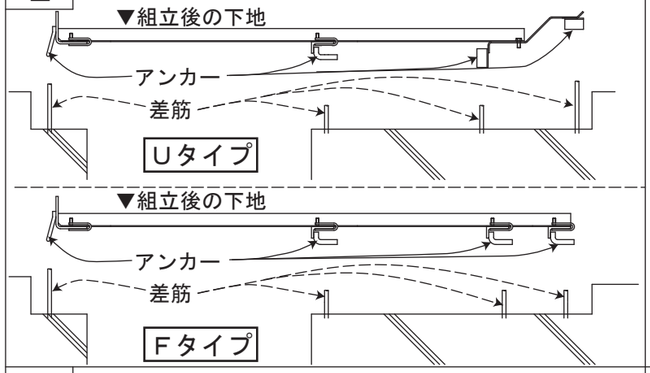
カネソウEXJoint

免震構造建築用ＥＸジョイント施工手順書

1

施工図に従いスラブを仕上げます。

2

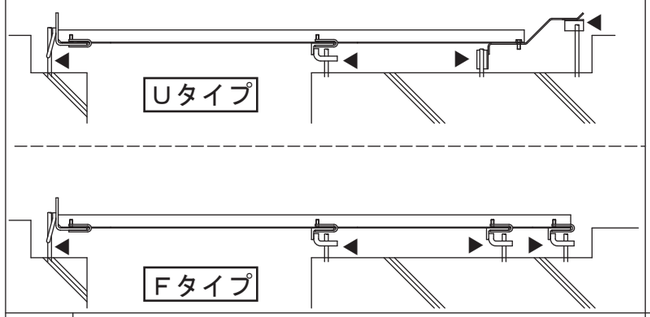


巻末ページの要領で下地を組み立てます。その下地にて差筋の位置を決めます。差筋は下地のすべてのアンカー位置に立てて下さい。アンカーの先端向き注意してください。

※１　Ｕタイプは変位時にカバーが跳ね上る仕様。Ｆタイプは平行に変位する仕様です。

3

▲…溶接個所を示す



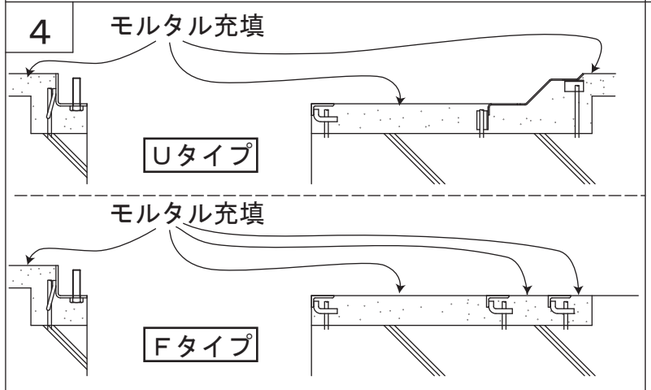
図面にて寸法確認行い、下地のレベルを調節し、すべてのアンカーと差筋を被覆アーク溶接します。溶接後レベラー金具を取り外します。

※２　下地取り付け時には必ず付属の専用レベラー金具を使用してください。

※３　差筋は下地の受面レベルより飛び出さないようにしてください。

※４　モルタルを打設作業終了まで、下地の上に荷物を置いたり歩行しないで下さい。ガタツキなどの原因につながります。

4



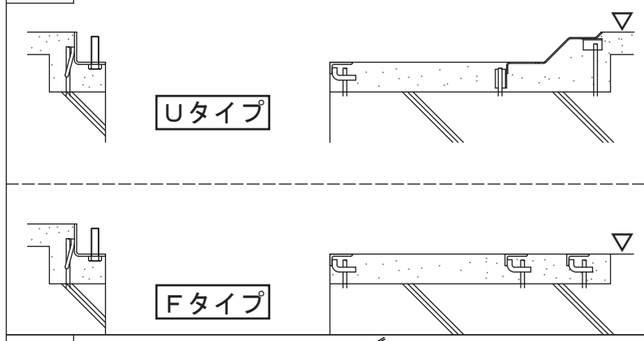
モルタルを打設します。

※５　モルタルは下地の受面レベルと面一になるように仕上げてください。

快適をかたちに KANESO

【ブリッジ　ＭＸ７７Ｄ／ＣＥ／ＳＴ／ＶＴＥ／ＶＴＨ】

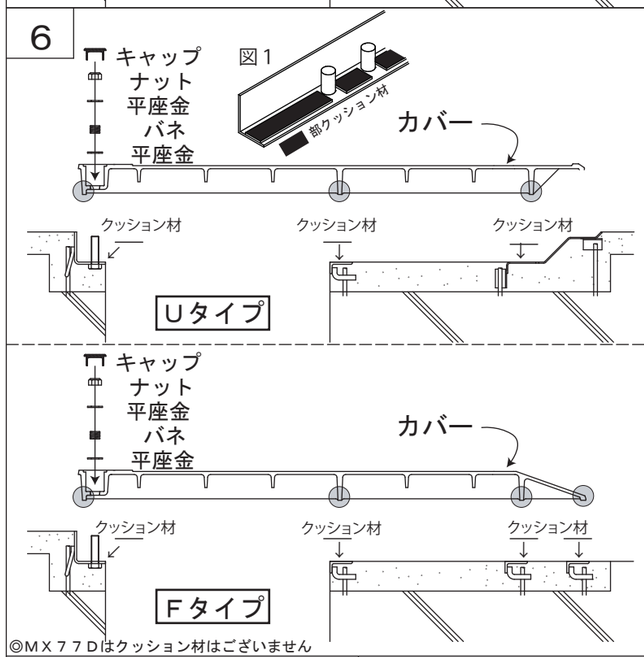
5



まわりの舗装を仕上げます。

※６　可動側の舗装面が▽レベルより高い場合、変位時にカバー、舗装材などが損傷する恐れがございます。

6



◎ＭＸ７７Ｄはクッション材はございません

下地表面の汚れ、ゴミ等を清掃します。クッション材を通しで下地に貼り付けた後、カバーをセットします。ボルト固定部は下より、平座金→バネ→平座金→ナットの順でセットします（ＶＴＥ／ＶＴＨはナットだけです）。

最後にキャップをはめてください。

※７　クッション材は通しで貼り付けます。ボルト部分はカットして貼り付けてつけてください（図1）。

※８　下地の清掃はクッション材貼り付け時、カバー敷きこみ時に行ってください。

※９　敷きこみ時にカバー右図◎部が下地にのっていることを確認してください。

※１０ナットの締め付けについては下図を参照ください。

ナットの締め付けについて

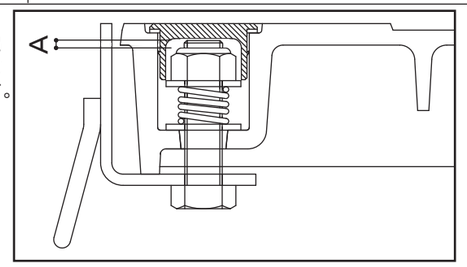
免震ＥＸジョイントは地震などの変位時においてカバーが跳ね上って追従する性能を持っております。そのためナットを完全に締め付けてしまうと変位に追従できなくなりカバーや下地を破損する恐れがございます。ナットの締め付けについては必ず下記の寸法をお守りください。

ナット上面レベルからボルト上面レベル寸法（右図Ａ寸法）

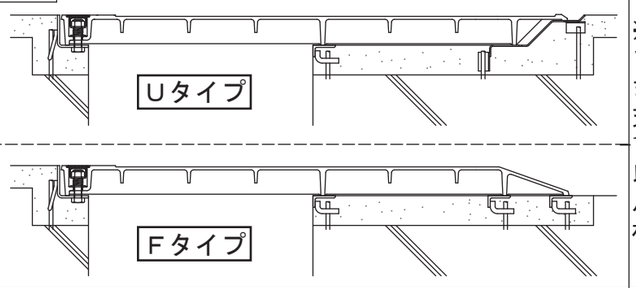
ＭＸ７７Ｄ	２㎜
ＭＸ７７ＣＥ	１３㎜
ＭＸ７７ＳＴ	１６㎜

この寸法を目安として締め付けてください

※ＶＴＥ／ＶＴＨはナットの締め込みが適正な位置で止まる構造です。



7



施工完了です。

※１１　充填タイプＭＸ７７ＳＴ、ＶＴＥ、ＶＴＨは充填部を仕上げて施工完了となります。設定した荷重強度を出すため、カバー充填部には 18（呼び強度）-18（スランプ）10（骨材の最大寸法）N（セメントの種類）以上の強度の生コンクリートを補強材レベル +5 ㎜以上充填してご使用ください。骨材は必ず 20 ㎜以下のものをご使用ください。